

## ＜財団本部＞アーツカウンシル東京 社会共生政策担当の主な担当事業について

### 1 クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー

(<https://creativewell.rekibun.or.jp/>)

あらゆる人が芸術文化を楽しめる共生社会が実現することを目指し、東京都との共催事業として、2021年度より実施しています。東京都が定める「東京文化戦略2030」（戦略1プロジェクト2「だれもが文化でつながるプロジェクト」）及び東京都歴史文化財団が定める「長期ビジョン2030」の重点事業として展開します。芸術文化の鑑賞や文化活動の創造の機会を広げ、誰もが楽しく参加できる環境を整え、芸術文化を通じた「ウェルビーイング＝（心の／生活の豊かさ）」のあり方を東京から発信します。



#### 【主な業務（参考）】

- (1) 都立文化施設や文化事業における環境・基盤整備
  - ・東京都歴史文化財団の各館（7館12施設1機構）と連携し展開
  - ・アクセシビリティ向上に関わるツール、プログラム、サービスの拡充
  - ・アクセシビリティ向上に関わる研修や調査の実施
- (2) アクセシビリティ向上にかかわる調査・検証・開発  
国内外の文化施設、NPO団体、大学等と連携し、文化施設や文化事業のアクセシビリティを高めるためのモデル開発等
- (3) 国内外の発信・ネットワークの醸成  
本事業の取組の紹介、国内外の事例共有、ネットワークの醸成の場として、「国際会議」や「国内会議」を隔年開催
- (4) クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー関連事業の実施
  - ・「Turn Landプログラム」の実施

### 2 都立文化施設のアクセシビリティ整備

東京都歴史文化財団の本部として、財団のアクセシビリティ向上に関わる設計・推進・統括業務を行います。財団の7館12施設 (<https://www.rekibun.or.jp/museum/>) と連携し展開します。